



後援会 えがお

社会福祉法人虹の会 後援会えがお事務局 【No.13】 2025年3月

デイサービス木かげ 施設見学会

10月18日（金）、南武庫之荘にある「デイサービス木かげ」の施設見学に行ってきました。午後すぐの見学のため、施設で提供されているお昼ご飯の試食をすることができました。塩分もしっかり管理されていますが、とても美味しかったです。デイサービスのフロアではカラオケ大会が行われていて明るい歓声が響いていました。見学出来て楽しかったです。（職員会員）



木かげのお昼ごはんを説明を受けながら試食しています

デイサービスとはどのような所？フロア見学



改修して綺麗になったお風呂も見学しました

介護学習会 / 介護相談

介護保険・情勢について

講師 宮野孝子氏（虹の会元顧問）

11月24日（日）と12月8日（日）の2回に分けて生涯学習プラザにて後援会えがお主催の介護学習会を開催しました。東西の両会場とも30人を超える方が来場されました。

今回は介護保険を使いたいときどうすれば？、介護サービスは月いくらかかるのか？など、介護保険や今の介護情勢を学習しました。

また、厳しい人員体制で奮闘するヘルパーステーションの現状、10月に統合した新ヘルパーステーションさくらの紹介がありました。



介護保険の財政の話、保険を使うには？など幅広く学習

介護のこと 教えてほしい

訪問介護の基本報酬引き下げ・・・介護倒産1月
～10月145件年間最多：訪問介護が半数

- 基本報酬を切り下げ：身体介護20分未満 マイナス2.4%
- 生活援助45分以上 マイナス 2.99%
- 赤字が続く訪問介護事業所：2018年47.7% 2019年44.4% 2022年42.8%
- 赤字が続く訪問介護事業所：平均収支差率7.8% 引き下げ理由
- これまで最多だった2022年の143件上回っている。ヘルパー不足が深刻な訪問介護が72件通所・ショート47件
- 原因：売り上げ不振105件（72.4%）従業員10人未満121件（83.4%）コロナ禍前より人手不足、物価高騰、パソコン代、水光熱費の高騰などで資金繰りが出来なくなっていた。業界でも協働化、再編など経営基盤の強化への取り組みが急務となっている。業界でも協働化、再編などを進めていく。

参加者の声

- ・ 今まで中途半端に覚えていたことが宮野さんの説明で良く分かりました。（地域会員）
- ・ ヘルパーステーションの職員さんの想いが伝わるお話が聞いて良かったです。（地域会員）
- ・ 誰もが安心して暮らせる街づくりを担う団体として自分に出来ることを精一杯頑張ろうと思いました。（職員会員）

ヘルパーステーション 利用者様と共に



能登半島地震地域訪問行動

11/25～11/27(3日間)

全日本民主機関連合会からの第9クール能登半島地震地域訪問行動に、社会福祉法人虹の会から3名の職員が支援に参加しました。参加メンバーの一人から見た現在の様子や支援についてお聞きしました。

現地輪島市まで車で往復しました。特に金沢市から輪島市までの市街地がどのように復興されているかを確認しながら現地へ向かいました。輪島市までの道のりは、う回路や道が分断されたままの状態、上下の高低差があり、対面通行の道も多く奥能登へ入るとまだまだ幹線道路は整備されていませんでした。

輪島市街から約20km。海沿いの集落で輪島市で一番復興が遅れている地域を訪問行動しました。奇岩、切り立った岩が多く海水浴場として活用され、海を見ると隆起した所があちこち見られました。地域の家ほとんどが「準半壊」・「一部損壊」で修理費補助は極端に少なく、医療費補助は有りません。上下水は最近通ったそうです。この辺の地域の店は震災でなくなり、週2回車の移動販売で物資を調達しているとのことでした。

海沿いから100mほど奥へ入ると山があり、土砂災害の危険性も十分ある集落で、地震当日は海からの津波がくるという情報があり、山麓の神社のほこらへ避難したとのこと。山頂付近を見ると土砂が崩れた跡もあり、今後大きな地震があれば逃げ場のない集落だと思いました。

11/26(火) 23時前に能登を震源とする地震(震度5弱)があり、最終日の訪問行動は安全を考え中止となりました。

私たちは兵庫へ戻るところがありますが、能登の人達は今後もこの緊張感を継続して生活しなければなりません。私たちは能登の現状を伝えなければならぬと思いました。

本部事務局 横川明彦



後援会えがおからカイロ300個

えがお
リレー



後援会えがおの活動で感じたこと、ちょっとした出来事などを役員・運営委員がリレーでお伝えるコーナーです。今回は長濱勝彦副会長です。

私と介護との関わり

介護との関りは、父親が20年前、母親が15年前に神戸の老人保健施設で、看取りまでお世話になったこと。また介護福祉士の長男の妻が、福岡の住宅型有料老人ホームで、デイサービスと施設内訪問介護の仕事をしていることです。

なので「後援会えがお」の学習会等で学んだことは、介護の知識が一つ一つ積み上がっている感じです。

後援会えがおに携わって

後援会として「施設見学会」が取り組まれています。一つには他の法人が運営する施設を見学することで、色々学んだり参考になったことを、「虹の会」の施設運営に生かす狙いがあります。もう一つは「虹の会」が運営する施設を見学し、その良さ特徴などを知ってもらって、利用の促進につなげていく狙いがあります。「運営委員会」としては、そんな思いで「年間計画・施設見学会」の作成と実践に心がけています。



長濱 勝彦
後援会えがお副会長

速報

第8回 後援会えがお総会 開催日決定!

2025年5月17日(土曜日) 10時～12時 小田南生涯学習プラザ